

⑦平成24年7月九州北部豪雨《線状降水帯に伴う洪水被害》からの 創造的復興（白川・黒川河川激甚災害対策特別緊急事業の完成）

受賞機関 熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
熊本県 県央広域本部 土木部
熊本県 県北広域本部 阿蘇地域振興局 土木部

キーワード ショートカット、川づくり検討会、地役権方式、河川アドバイザー

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成24年7月九州北部豪雨の再度災害防止を目的として、築堤、掘削、遊水地、宅地嵩上げ等を実施した事業。ショートカットにより河川を整備する区間では、土質・環境・まちづくり等の観点からも川づくりの検討が重ねられており、治水安全度の向上と良好な景観・環境の形成の両者が図られている点が評価された。

1. はじめに

平成24年7月12日未明から、梅雨前線に向かって発達した雨雲が次々と流れ込む線状降水帯が発生し、白川水系の流域面積の約8割を占める阿蘇カルデラ内を中心に短時間に記録的な大雨となった。阿蘇市では、1時間あたり100mm前後の雨が4時間継続するなど、12日0時から9時までに492.5mmを観測する記録的な豪雨となり、気象庁はこの大雨を「これまでに経験したことのないような大雨」という表現で発表した。この豪雨により、阿蘇カルデラ内を流れる白川水系黒川や下流の熊本市街地を流れる白川では、河川の水位が大きく上昇し、流域全体で甚大な被害が発生した。

2. 事業の概要

この災害に対し、白川水系白川及び黒川は河川激甚災害対策特別緊急事業として採択され、白川9.4km、黒川27.0km間において再度災害防止を目的に河道付替、掘削、築堤、遊水地、輪中堤及び宅地嵩上げ等、上下流一体となった治水対策を実施した。

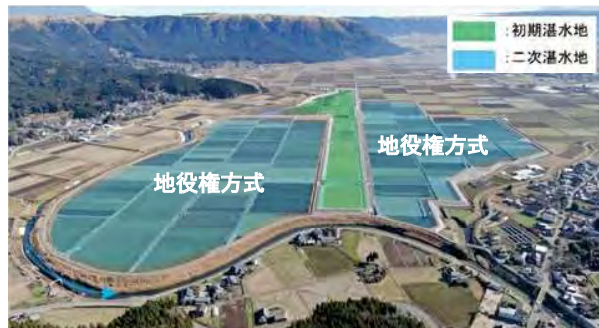


【白川】龍田陣内・下南部地区の河道付替え

3. 事業の成果

白川では、特に浸水被害が甚大であった龍田陣内・下南部地区において、大規模な河道付替え（ショートカット）による河川改修を実施。改修に当たっては、水位上昇や高速流の発生抑制の検証が必要であったため、国土技術政策総合研究所や熊本大学の協力による水路実験等、技術的課題について検討を行った。加えて、「龍田陣内・下南部地区川づくり検討会」を設置。ワークショップ等を通し、安定性・施工性・経済性の面から現地発生玉石による対策が有効であることを明らかにし、河川環境等に配慮した河川改修に取り組んだ。

白川上流に位置する黒川においては、河道掘削や改修とともに、洪水調整のための遊水地や輪中堤及び宅地嵩上を実施。遊水地は、地役権方式を採用。内牧河道改修では、河川アドバイザー（学識経験者）の意見を取り入れ、自然石による石積み護岸等を行い、内牧温泉街の景観向上にも寄与した。



【黒川】遊水地の整備

4. おわりに

このたび、白川・黒川河川激甚災害対策特別緊急事業が令和2年1月に完了を迎えた。近年、異常気象による豪雨災害が全国的に頻発するなど、災害は、いつ、どこで起こるかわからない。本事業で得た経験を後世に継承しつつ、来るべき災害に備えながら、日々の河川行政に取り組んでいきたい。最後に、本事業に協力いただいた関係者にあらためて深く感謝申し上げる。

賛助会員 (株)有明測量開発社、川崎地質(株)、(株)建設技術研究所、(株)十八測量設計、大日本コンサルタント(株)、(株)東京建設コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ(株)、丸昭建設(株)、(株)水野建設コンサルタント、明治建設(株)